我が国の対中南米外交

令和元年９月１２日

中南米局

我が国の対中南米外交

令和元年 ９月
外務省中南米局

中南米地域の評価 ～概観～

1 大きな経済的潜在力

●世界有数の資源供給元
●人口約6.4億人，GDP約5.5兆ドルの市場
（ASEAN（約2.8兆ドル）の約2倍）（出典）IMF(World Economic Outlook, April 2019)
●グローバルな製造拠点・大型インフラ需要

2 基本的価値を共有する国際場裡の一大勢力

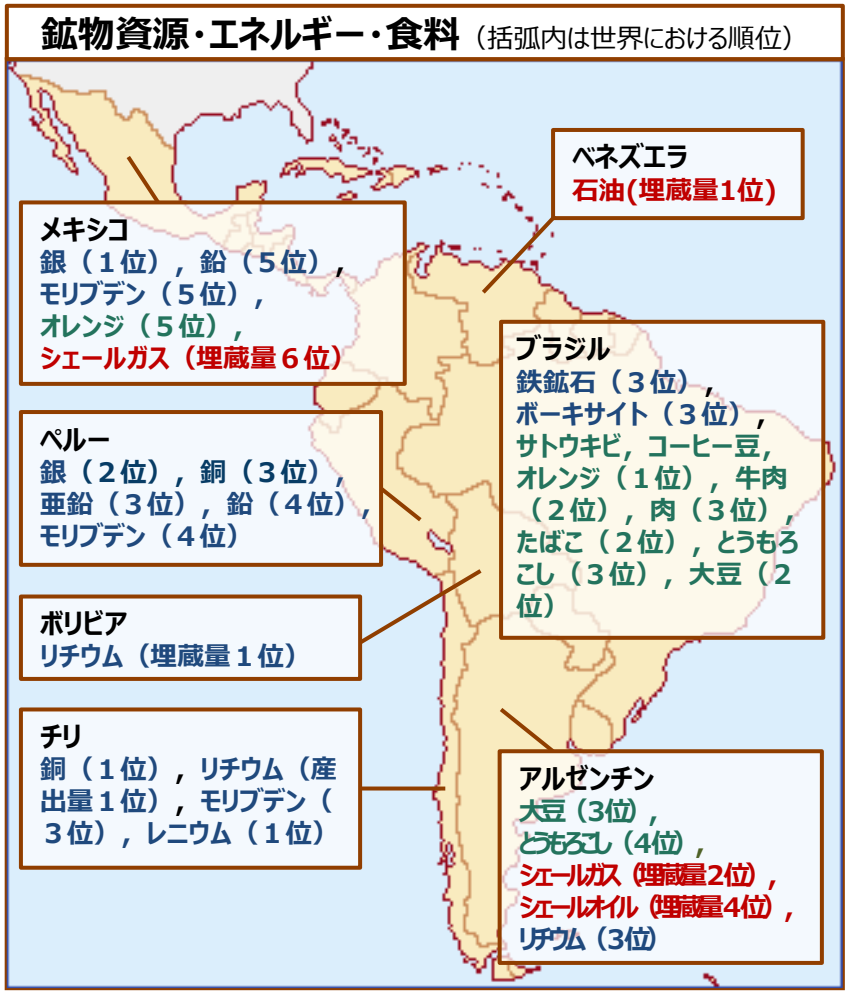
●国連加盟国の約18%（33か国）
●アルゼンチン，ブラジル，メキシコはG20加盟国
●民主主義，法の支配，市場経済

3 日本の外交的比較優位

●100年にわたる外交関係の歴史
●世界最大（約210万人）の日系人ネットワーク
●日本は重要な対中南米投資国
⇒近年，日本企業の進出は急増
●親日的な地域（負の歴史遺産がなく，伝統的絆あり）

中南米地域の評価　～資源・日系企業～

鉱物資源・エネルギー・食料（括弧内は世界における順位）



主要中南米諸国への日系企業進出数
（平成29年10月1日現在）

日系企業数（平成29年10月1日現在）

中南米全体　2,836拠点
（世界全体　75,531拠点）

Alianza del Pacífico：太平洋同盟加盟国

MERCOSUR：メルコスール加盟国

（注）ボリビア：加盟国議会承認待ち，ベネズエラ：加盟国資格停止中

中南米地域の評価　～日系社会～

日系人数（平成27年10月1日現在）

1. ブラジル	**約 190万人**
2. 米国	約133万人
3. ペルー	**約　10万人**
4. カナダ	約88,000人
5. アルゼンチン	**約65,000人**
6. オーストラリア	約57,000人
7. メキシコ	**約20,000人**
8. ボリビア	**約14,000人**
9. パラグアイ	**約10,000人**
10. チリ	**約 3,000人**

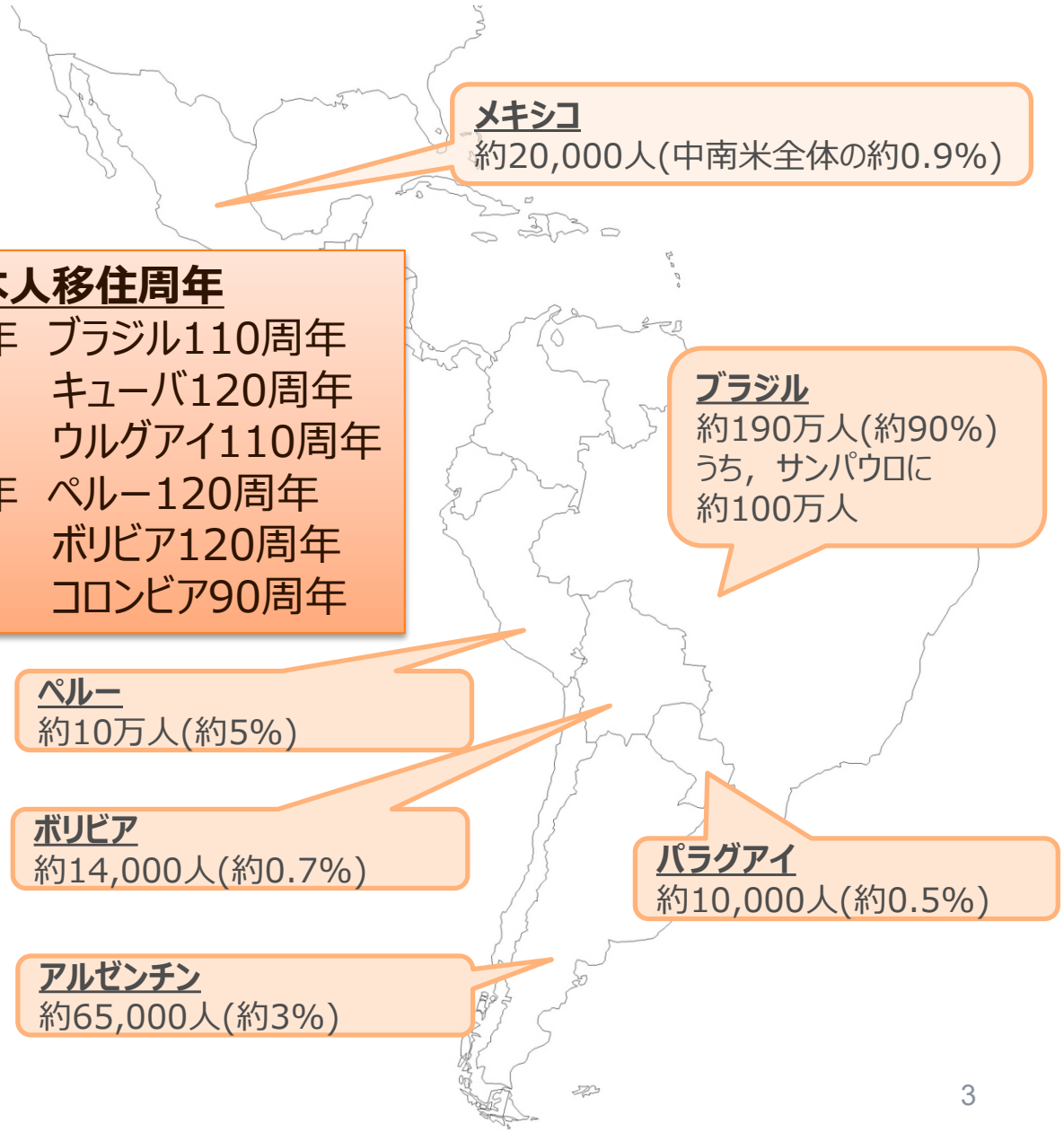
（その他中南米地域）

コロンビア	**約 2,000人**
キューバ	**約 1,200人**
ベネズエラ	**約　820人**
ドミニカ(共)	**約　800人**
ウルグアイ	**約　460人**

中南米全体　約213万人
（世界全体：360万人以上）

日本人移住周年

18年　ブラジル110周年
　　キューバ120周年
　　ウルグアイ110周年
19年　ペルー120周年
　　ボリビア120周年
　　コロンビア90周年



近年の中南米経済情勢

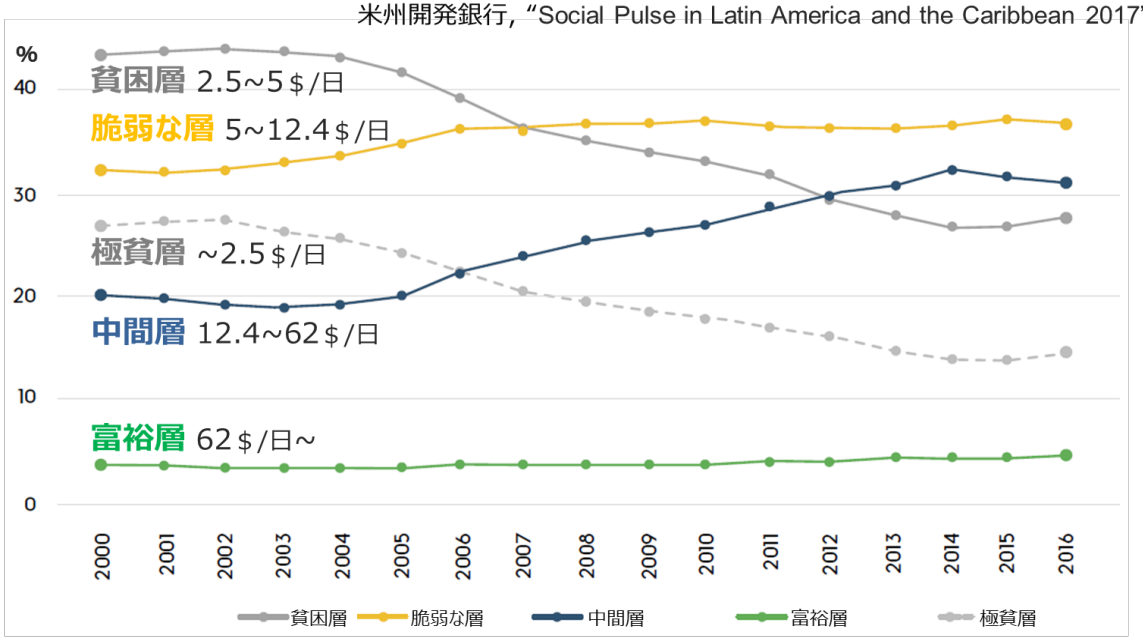
主要国の一人当たりGDPの変化（2000年⇒2017年）（米ドル）

国名	2000年	2017年
チリ	5,057	↗ 15,037
アルゼンチン	7,708	↗ 14,592
ブラジル	3,750	↗ 9,881
メキシコ	7,158	↗ 9,281
ペルー	1,956	↗ 6,701
コロンビア	2,520	↗ 6,376
ベネズエラ	4,842	- 2014年 16,054
ボリビア	998	↗ 3,351
ニカラグア	1,008	↗ 2,168
ハイチ	467	↗ 766

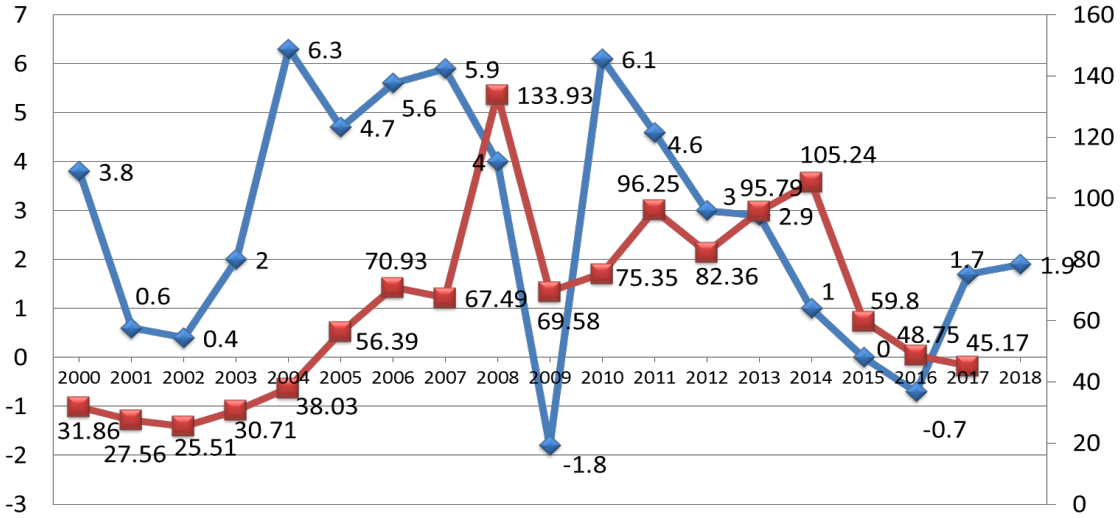
※世界銀行統計を基に作成

中間所得層の拡大

※主要18か国について，
米州開発銀行，“Social Pulse in Latin America and the Caribbean 2017”



中南米地域の経済成長率及び国際原油価格の推移



（出典）GDP：IMF, 2017　原油価格：IMF, 2017　17年，18年は推計・予測

近年の中南米政治情勢

2000年以降の中南米政治情勢

2000年代 天然資源ブームと左派政権の誕生

- 2000年代の天然資源価格高騰を背景にした左派政権の誕生（アルゼンチン，ブラジル，エクアドル，ニカラグア，ベネズエラ，ボリビア）
- 1990年代新自由主義政策への反動，低所得層の支持獲得

2010年代 資源価格低迷と政権・政策変更

- 2010年代半ばからの資源価格低迷によるポピュリスト的政策の行き詰まり（アルゼンチン，ブラジル⇒政権交代，エクアドル，ニカラグア，ボリビア⇒政策の修正）
- ベネズエラでは，チャベス大統領死去後，政策変更が行われず情勢は混迷

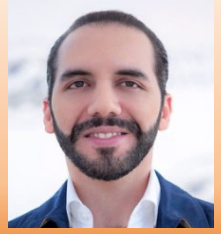
2018年 主要国の大統領選挙

- 2018年は，メキシコ，ブラジルを含む中南米6か国で大統領選挙を実施
- 自由主義的経済政策の下で，2010年代も経済成長を維持したメキシコ，政権交代後成長を回復しつつあるブラジル等地域主要国での選挙結果は，中南米全域に影響

2019年の中南米大統領選挙

エルサルバドル　2月3日
就任式　6月1日

ブケレ　大統領
（ＧＡＮＡ（国民統合のための大連合））



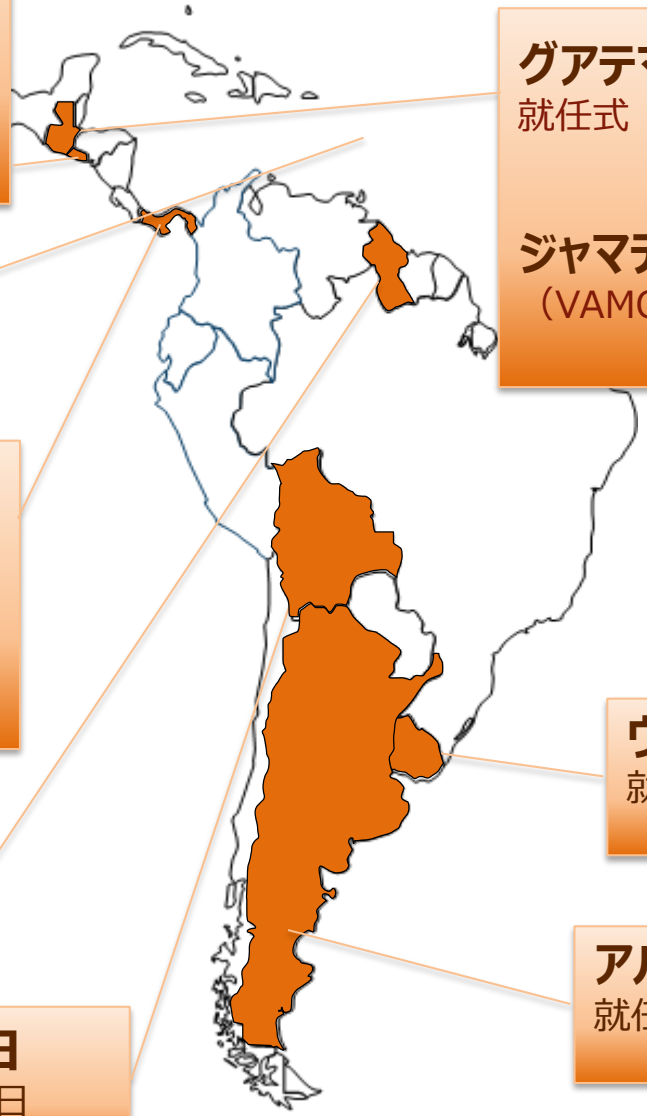
ドミニカ国(総選挙) 時期未定
（12月に議会任期終了）

パナマ　5月5日
就任式　7月1日

コルティソ　大統領
（ＰＲＤ（民主革命党））

ガイアナ(総選挙) 時期未定

ボリビア 10月20日
就任式 2020年1月22日



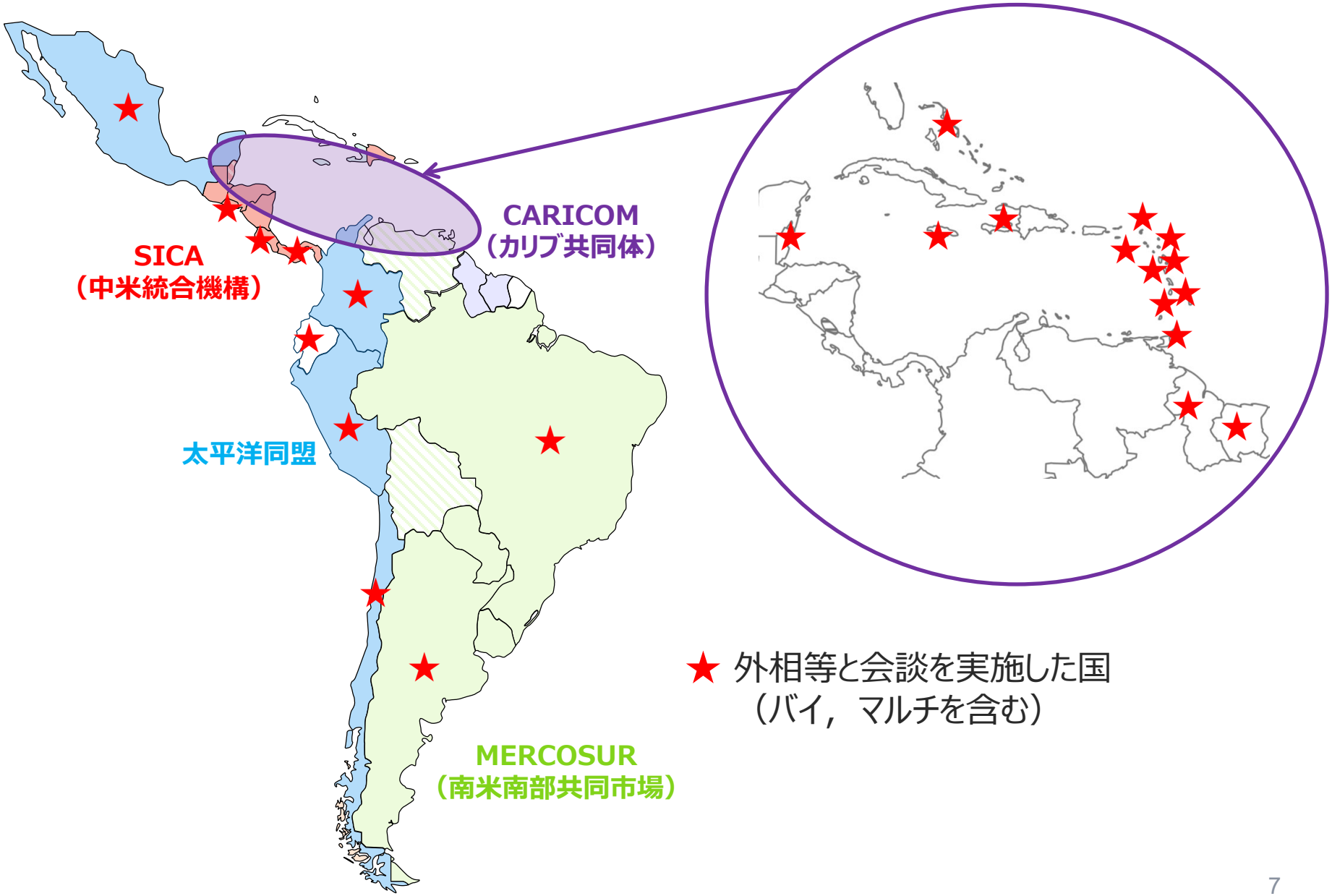
グアテマラ　8月11日
就任式　2020年1月１4日

ジャマテイ　大統領
（VAMOS（バモス）党）

ウルグアイ　10月27日
就任式　2020年3月1日

アルゼンチン　10月27日
就任式　12月10日

要人往来　～河野大臣と中南米諸国との接点～



日・中南米「連結性強化」構想

日・中南米関係の現状

◆ **“Juntos!!”に基づく二国間関係拡大／対地域外交のフロンティア**

–「共に発展（経済関係の強化）」：日本企業の進出拡大（**2,836**拠点 過去5年で**2**倍）
–「共に主導（国際社会のパートナー）」：要人往来（18年，延べ約**70**か国訪問）の機会の政策対話
–「共に啓発（交流・日本の魅力の発信）」：日系社会との連携強化，**ジャパンハウス・サンパウロ**開館

各国で積み上げた“Juntos!!”の成果を地域全体として改めて総括し，次なる協力の段階へと深化させるための指針が求められている

➡ 対中南米外交の課題を包含するキーワード
「連結性強化」

PROGRESS 自由で開かれた経済システム

- ASEANの2倍を誇る潜在的な巨大市場
- 自由貿易推進の伝統,メキシコ,チリ,ペルーのTPPへの参加

➢ **グローバルバリューチェーン，質の高いインフラの推進による経済的連結性**強化

LEAD ルールベースの多国間主義

- 自由・民主主義・法の支配等の基本的価値の共有
- 自由で開かれた海洋秩序の恩恵を受ける地域

➢ 国際社会共通の課題に対して，**共通の基礎と政策対話を通じた価値の連結性**強化

INSPIRE SDGsの実現

- 気候変動，自然災害に対する脆弱性（小島嶼国，地震）
- 「人間の安全保障」実現への諸課題（環境,都市問題,格差等）

➢ 産官学連携による日本の**イノベーション輸出を通じた，課題解決のための知恵の連結性**強化